

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床病態学Ⅱ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	藤野 良昭 ※
授 業 概 要					
臨床検査情報の活用法、解析法について、各種検査値を用いて実践的に学習する。主に検査所見のみから病態を推論するReversed Clinico-pathological Conference (RCPC)の形態をとりながら、自ら学び自ら考える力を養成することに主眼を置く。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・検査結果から、今患者が置かれている現状を理解できる。 ・ある症状が出現したとき、どのように検査を進めていくべきか予測できる。 					
実務経験のある教員					
藤野良昭、小池敦、柴田真由美、宮下裕美：病院での臨床経験を踏まえ、各種検査と疾患について概説する。					
回	学 習 内 容			担当教員	
1-2	生理検査と疾患	検査結果の解釈		宮下 裕美 ※	
3-4	一般検査と疾患	検査結果の解釈		藤野 良昭 ※	
5-6	病理検査と疾患	検査結果の解釈		小池 敦 ※	
7-8	生化学検査と疾患	検査結果の解釈		藤野 良昭 ※	
9-10	免疫検査と疾患	検査結果の解釈		柴田 真由美 ※	
11-12	血液検査と疾患	検査結果の解釈		藤野 良昭 ※	
13	微生物検査と疾患	検査結果の解釈		〃	
14	精神・神経にかかわる検査と疾患	検査結果の解釈（認知症含む）		〃	
15	生殖器の検査と疾患	検査結果の解釈		〃	
学 習 方 法					
各自に症例問題を与え、質問方式で臨床検査データの判読法を学ぶので臨床医学総論、臨床病態学Ⅰ、関連教科書及び配付資料をしっかりと予習、復習しておくこと。					
評 価 方 法					
定期試験（70％）及び月曜試験（30％）により評価する。遅刻や欠席等で月曜試験を実施しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は教育上不利益にならないよう考慮する。また、再試験は月曜試験の内容を合わせて出題し、これを評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>〔教科書〕 最新臨床検査学講座 臨床医学総論/臨床検査医学総論（著者：奈良信雄 出版：医歯薬出版株式会社）</p> <p>〔参考書〕 カラーアトラス ビジュアル臨床血液形態学（著者：平野正美 出版：南江堂） 異常値の出るメカニズム第7版（著者：河合忠 出版：医学書院） 臨床検査データブック2021-2022（監修：高久史麿 出版：医学書院） 配付資料</p>					